

みんなの健康ラジオ

『甲状腺の腫瘍と治療』

(2026年1月29日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

横浜市立病院

塩野 理

首に腫れているものがある

- 首には色々な臓器やリンパ節があり、どこが腫れているかによって病名が異なる
- 耳下部には耳下腺、顎下部には顎下腺、頸部リンパ節の腫脹など
- 首の前の方、のど仏の下、鎖骨の上であった場合、甲状腺が腫れているかもしれない
- 甲状腺が腫れている場合、全体的に腫れているか、一部分だけ腫れているかによって対応が異なる
- 全体的に腫れている場合は甲状腺ホルモンの異常が影響していることがある
- 一部分だけ腫れている場合、嚢胞や腫瘍が疑われる

甲状腺の腫瘍

- 良性腫瘍・腫瘍様病変：嚢胞、濾胞腺腫、腺腫様甲状腺腫
- 悪性腫瘍：乳頭がん、濾胞がん、低分化がん、髄様がん、未分化がん、悪性リンパ腫
- 悪性腫瘍のうち、最も頻度が高いものが乳頭がんで、ほとんどが悪性度の低い、なかなか大きくならないもの（20年生存率 $\geq 90\%$ ）
- 悪性度の低い乳頭がんと、それ以外の悪性度の高い悪性腫瘍を見分けることが大切

甲状腺腫瘍の検査

- 視診、触診
- 採血（甲状腺ホルモンや腫瘍マーカー）
- 超音波検査
- 超音波ガイド下穿刺吸引細胞診検査
- CT検査
- MRI検査
- 核医学検査（シンチ）

甲状腺腫瘍の治療

- ・悪性が疑われるが小さくて片側に限局している場合や、大きいが良性の場合、片葉切除
- ・大きくて悪性が疑われる場合や、複数の腫瘍や両側にまたがっている腫瘍の場合、全摘：甲状腺ホルモンの補充が必要
- ・頸部リンパ節転移の状態も手術に影響する：外側区域郭清を行うかどうか
- ・放射性ヨード内用療法：手術で甲状腺やリンパ節を摘出したのち、ヨードを取り込む性質を利用し、微小な甲状腺がん細胞を放射線で治療する
- ・分子標的薬：近年、色々ながん細胞の遺伝子異常が見つかり、異常に対して効果のある抗がん剤が開発されている